



『日本語教育』190号 (2025年4月発行) 特集テーマ

投稿募集

新規投稿申込期日：
2024年8月20日(火)
日本時間 23:59

[投稿要領等](#)

日本語教師養成・研修の最前線とその課題

本特集では、日本語教育学会の[理念体系](#)の社会的研究課題2「日本語人材・複言語人材育成のための日本語教師養成・研修の理念と枠組みの再構築」に基づき、「日本語教師養成・研修の最前線とその課題」をテーマとします。

2024年施行の「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」により、登録日本語教員の国家資格化や、日本語教育機関の認定制度の制定など、日本語教育を取り巻く社会的状況は大きく変化しています。また、コロナ禍により想像もしていなかったオンラインでの授業など、求められる授業形態や授業内容が多様化している現場に対応するには、どのような教師養成・研修が必要になるのでしょうか。

これからの時代の日本語教師に向け、現在どのような養成・研修が行われているのかを知ることは、教師養成担当者や過去に養成・研修を受けてきた日本語教師だけでなく、日本語教育に携わる全ての人にとって重要なことであると考えます。

現在、養成・研修の現場では様々な試みがなされていると思われます。そこで得られた知見と新たに明らかになってきた課題を多様な角度から論じ、養成・研修に関する議論を学会内外に広く喚起する論文の投稿をお待ちしております。

学会誌委員会 特集担当：長谷川守寿（代表）、木谷直之、中俣尚己